

2018

4年 セストボール



松戸市立八ヶ崎小学校

セストボールは・・・

- ・カゴのようなゴールへパスだけでボールを運びながら得点を競い合う、攻守が入り交じったゲーム。
- ・攻撃側は、ゴール裏を含めた360度の空間からシュートをすることができる。

児童から見ると・・・

- ・手でボールの操作ができる。
- ・ドリブルをしないでゲームを進める。  **親しみやすい**
- ・360度どこからでもシュートができる。

しかし...

- ・ボールが上手く扱えない。  **苦手意識に繋がってしまう**
- ・どこへどのように動いたらよいかわからない。

学習カード

教材

学習課程

課題設定

本校では・・・

☆ **簡単な役割を決めて、たくさん点をとることができるようにする。**

《規則》

☆始めから提示する規則⇒**シンプルなものにする。**

- 3対3。
- 6分（3セット制，2分ごとに選手交代）。
- ゴールのある円には，誰も入ってはいけない。
- 攻撃は，パスとシュートのみで進める。
- ボールを持っている時，移動してはいけない。
- シュートが入ったら1点とする。
- 相手との接触プレーは，禁止とする。
- ボールを持っている人からボールを奪ってはいけない（パスカット可）。
- ボールが外に出たら，サイドラインから再スタートする。
- シュートを入れられたら，センターラインから再スタートする（シュートがリングに当てられた時は，プレーを中断しない）。

★追加の可能性のある規則

⇒**児童の困り感・必要感に応じて，教師が提案・追加する。**

児童の困り感	追加のルール	個人やチームのメリット
<ul style="list-style-type: none"> • なかなかシュートが入らない。 • 入る自信がないから，シュートができない。 	<ul style="list-style-type: none"> • シュートが入る，もしくは，ゴールのリング（フラフープ）に当たったら，帽子を赤にする。 	<ul style="list-style-type: none"> • ゴールが狙えるときに積極的にシュートするようになる。
<ul style="list-style-type: none"> • もっとたくさん得点したい。 • いつも同じ人ばかりが，得点している。 	<ul style="list-style-type: none"> • チームの全員の帽子を赤にすることができたら，ボーナス5点とする。 	<ul style="list-style-type: none"> • チームの全員がシュートできるよう，味方にパスを回すようになる。
<ul style="list-style-type: none"> • 敵が目の前にいて，なかなかパスができない。 	<ul style="list-style-type: none"> • ボールを持っている人から1m程度離れて守備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> • 相手が近くに来ないので，パスの状況判断が易くなる。
<ul style="list-style-type: none"> • ディフェンスが味方をマークしていて，パスができない。 	<ul style="list-style-type: none"> • シュートを決めたら，控えの味方にハイタッチをして得点板の得点をめくってからゲームに入る。 	<ul style="list-style-type: none"> • 数的有利な状況になり，攻撃しやすくなる。

※単元前半で規則を工夫し，単元後半で「簡単な役割を決めた攻撃」の学習ができるようにする。

《教具》

・ボール



- MIKASA 教育用ドッジボール〔2号球〕
- ・両手でシュートしやすい大きさのものにする。
- ・操作しやすいように、空気を少し抜いておく。

・ゴール



- ・背の高い児童が手を伸ばした時の高さを基に、皆がゴールをねらうことができる高さに設定する（180cm）。
- ・リングにはフラフーフを使用する（直径約63cm）。
- ・ススランテープを使って鈴を付けることで、ゴールが決まったかどうかをわかりやすくする。
- ・倒れないように、コーン用のおもりを置く。



・カゴの中身

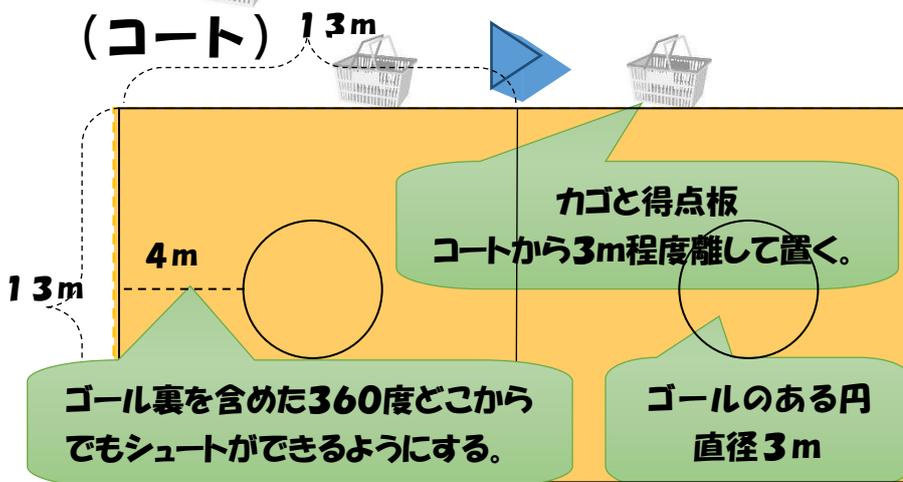


- （大）：学習板の近くに置いておく。
- ・個人の学習カード
- ・水筒
- ・筆記用具

- （小）：コート付近へ持って行く。
- ・作戦ボード（コート図を描いたホワイトボード）
- ・マグネット



- ・ポケットファイル（規則、作戦カード、出場選手確認表など）



教具の作り方や材料の値段などについては、本校までお問い合わせください。

指導計画 ゲーム「セストボール」(9時間)

時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
	知識の獲得・基礎技能の向上 空いている場所を活用した攻め方を知る						簡単な役割を決めた攻め方の選択・実践			
0	オリエンテーション ・単元を通じた学習のねらい ・ゲームの行い方の説明 ・学習のルール ・用具の扱いについて ・試しのゲーム ・課題をつかむ (チームの課題)	・あいさつ ・用具の準備 ・ウォーミングアップ								
7		・健康観察 ・課題確認 ・攻め方の確認 (ゲームで試す攻め方を選ぶ) ※7時間目以降								
10		ゲーム① 第1次リーグ戦				ゲーム① 第2次リーグ戦				
17		<課題解決学習> 児童の困り感に応じて、教師が動き方のポイントを押さえて指導する <予想される課題> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">パスの受け方</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">パスの出し方</div> </div> <予想される練習方法> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">パスランシュート 2対1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">スリーサークルゲーム フォーサークルゲーム</div> </div>					<課題解決学習> チームの課題にあった解決方法を選択できるようにする <予想される課題> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">攻め方を知る</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">簡単な作戦を立てる</div> </div> <予想される練習方法> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ハーフコートゲーム (チーム練習・ペアチーム練習)</div>			
30		ゲーム② 第1次リーグ戦				ゲーム② 第2次リーグ戦				
37										
45		・反省 (学習カード記述 3 分間) ※はじめ, なか, おわりは 5 分間 ・まとめ ・クールダウン ・片付け ・あいさつ								

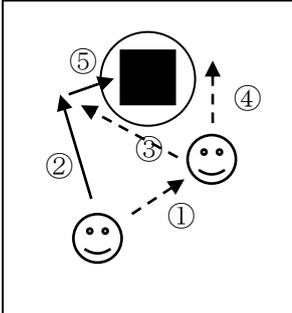
体育の学力（評価規準）

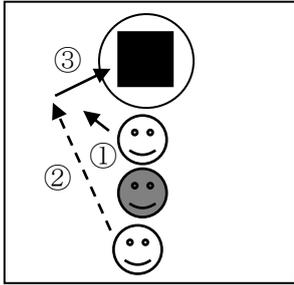
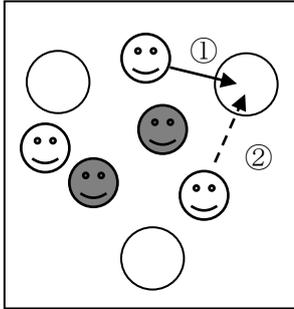
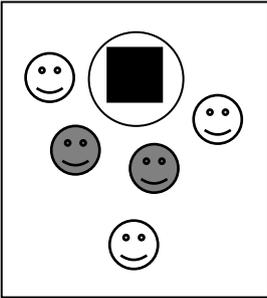
		体 育 の 学 力
技能	On the ball skill	①ゴールに体を向けることができる。
		②フリーの味方にパスを出すことができる。
	Off the ball movement	③向かってくるボールの正面に移動することができる。
		④ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動することができる。
態度	①ゲームに進んで取り組もうとしている。 ②規則を守り、友達と励まし合って練習やゲームをしたり、ゲームの勝敗を受け入れたりしようとしている。 ③用具の準備や片付けを友達と一緒にしようとしている。 ④ゲームを行う場や用具の安全を確かめようとしている。	
知識、 思考・判断	①プレー上の制限、得点の仕方、ゲームや練習をする時の規則などを選んでいる。 ②ゲームの型の特徴に合った攻め方を知り、簡単な作戦を立てている。	

課題解決のために必要と予想される練習方法



別付 DVD に映像有

 ① パスラン シュート	<p>2人で行う。1人はゴール方向にいる味方にパスをして、ゴール近くへ走る。パスを受けたもう1人は、ゴール近くへ走る味方にパスをし、ゴールを挟んでその人と反対側へ走る。パスを受けた1人は、すぐにゴールに体を向けてシュートをする。パスアンドランの動きや、シュート場面で必要となる山なりにボールを投げる技能を身に付けることを目的とする。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: right;">※人やボールの動きは、一例。</p>
---	--

<p>②</p>	<p>2対1</p>	<p>攻め2人，守り1人で行う。味方がフリーになった瞬間にパスをしたり，ゴール近くの空いている場所に動いてパスを受けシュートをしたりする技能を身に付けることを目的とする。</p>  <p>※人やボールの動きは，一例。</p>
<p>③</p>	<p>スリーサークルゲーム</p>	<p>3対2で行う。フラフープを3つ置き，そのフラフープに入ってボールをもらおうと得点になる。スペースへと動き出したり，フリーになっている味方を見つけてパスを出したりする技能を身に付けることを目的とする。</p>  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: auto; margin-right: auto;"> <p>・フラフープとフラフープの間を約9mにして，三角形を作る。</p> </div> <p>※人やボールの動きは，一例。</p>
<p>④</p>	<p>ハーフコートゲーム</p>	<p>3対2で行う。ハーフコートで，チームの攻め方やそのときの役割行動（一人一人の動き方）を確認したり，得点をするための動きを身に付けたりすることを目的とする。</p> 

展開 1 (1時間目 オリエンテーション)

- 単元を通したねらいを伝え、学習のめあてをもつことができるようにする。
- 用具の扱い方や場のづくり方について指導する。
- セストボールにおける規則や授業での約束について指導する。
例：ボールを蹴らない。ボールの上に乗らない（座らない）。
ボールは必ず袋やカゴに片付ける。 など
- 試しのゲームを通して、チームの課題を見付けることができるようにする。
- 「これならできそうだ!」「自分たちもやってみたい!」という意欲をもつことができるようにする。

時配	過程	・学習内容と活動	○指導と支援
20	あいさつ 健康観察 オリエンテーション 課題確認 試しのゲームについての説明	<p>○大きな声で元気のよい挨拶で学習が始められるようにする。</p> <p>○集合場所、並び方、服装、持ち物の置き場所について確認する。 (ビブスはズボンにしまう。赤白帽子は後ろ向きにする。ミサンガやピンを外す。)</p> <p>○健康観察を行う。</p> <p>○セストボールの学習のねらいや進め方について伝える。</p> <p>・単元を通して、自分がどのようなことを頑張りたいのか、どのような姿になりたいのかを考え、発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>試しのゲームをして、チームの課題を見つけよう。</p> </div> <p>・本時の課題を知り、ゲームを通して、個人の課題に加えて、チームとしてどのような課題があるのかを見付ける。</p> <p>○課題は、声や協力などの態度面ではなく、パスやシュートといったボール操作やボールを持たない時の動きなど、技能面に関することを見付けるように伝える。</p> <p>○3コート同時に、各コートで兄弟チームと行うことを伝える。</p> <p>○ルールをについて、以下の内容を確認する(初めは簡単に)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3対3。 ・ 6分(3セット制, 2分ごとに選手交代)。 ・ ゴールのある円には、誰も入ってはいけない。 ・ 攻撃は、パスとシュートのみで進める。 ・ ボールを持っている時、移動してはいけない。 ・ シュートが入ったら1点とする。 ・ 相手との接触プレーは、禁止とする。 ・ ボールを持っている人からボールを奪ってはいけない(パスカット 	

	<p>学習の場、用具の準備をする。</p> <p>ウォーミングアップ</p>	<p>は可)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールが外に出たら、サイドラインから再スタートする。 ・シュートを入れられたら、センターラインから再スタートする(シュートがリングに当てられた時は、プレーを中断しない)。 <p>○学習板のマグネットや掲示物を使いながら、視覚的に理解できるようにする。</p> <p>○運び方や運ぶ場所について確認する。 (ゴールは2人か3人で、他のものは1人で運ぶ。カゴや得点板は、コートから3m程度離して置く。)</p> <p>○チームで分担し、協力して素早く準備するよう伝える。</p> <p>○必要な部位をほぐすとともに心肺機能を高められるよう、担任が主導で準備運動とボール慣れの運動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人組になって対面パスをする。1時間目では自由な方法・距離でパスを行う。 <p>○声を出しながら練習を行うように伝える。</p>
<p>15</p>	<p>健康観察</p> <p>チームでの確認</p> <p>試しのゲーム①</p> <p>全体での確認</p> <p>試しのゲーム②</p>	<p>○健康観察をする。(必要に応じて水分補給をする時間を設ける。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試合に出るメンバーを確認するよう伝える(単元を通しての出場回数に偏りが出ないように配慮する)。 ・センターラインに全員整列して並ぶ。 ・笛の合図で挨拶をする。 ・コート内で円陣を組んで気合を入れる。 ・ゲーム終了の笛でセンターラインに整列して礼を言う。 <p>○必要に応じて水分補給をする時間を設ける。</p> <p>○試しのゲーム①を終えて、ルール等で困ったことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・試しのゲーム①と同様に行う。
<p>10</p>	<p>反省</p> <p>まとめ</p> <p>クールダウン</p> <p>片付け</p> <p>あいさつ</p>	<p>○円になって話し合う、友達の意見をしっかり聞いてから書くなど、チームでの反省の仕方や学習カードの書き方について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームごとに集まり話し合いながら、チームや個人の課題について学習カードに記述する。 <p>○児童が発言を行う際、他の児童の意見を受けて発言できるように配慮する。</p> <p>○教師主導で整理運動を行い、使った部位をほぐすことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで分担し、協力して素早く片付けをするよう伝える。 <p>○毎時間、元気よく挨拶をして終わることができるよう伝える。</p>

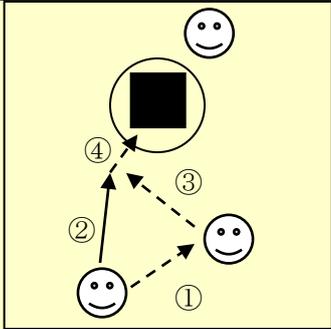
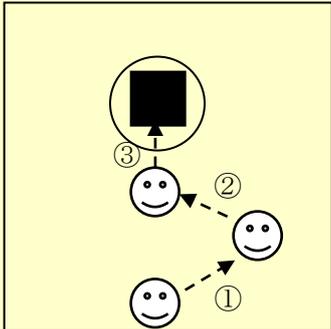
展開2 (2~6時間目)

時配	過程	・学習内容と活動 ○指導と支援
7	あいさつ 準備 ウォーミングアップ 健康観察	<ul style="list-style-type: none"> ・服装を整えて整列をして、元気よくあいさつをする。 ・チームで分担して、素早く場や用具の準備をする。 ○必要な部位をほぐすとともに心肺機能を高めることができるよう、教師主導で準備運動とボール慣れの運動（2人組での対面パス）を行う。 ○対面パスでは、声をかけ合いながら相手の取りやすいパスをするよう伝える。また、試合を意識して、パスの距離や方法を工夫するようにも伝える。 ○健康観察をする。必要に応じて水分補給をする時間を設ける。
30	課題確認	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードに記述した前時の課題とそれに対する教師のコメントを読み、本時の課題に対して見通しをもってから活動に入るようにする。 ○本時の課題を確認する（本時の課題は、前時までの児童の困り感やゲームの様相を基に設定する）。 < 2時間目 > <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">パスをつないでこうげきしよう。</div> < 3時間目 > <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">空いている場所へ動いてこうげきしよう。</div> < 4時間目 > <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">パスのきよりや方法を工夫してこうげきしよう。</div> < 5時間目 > <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">フリーの味方にパスをしてこうげきしよう。</div> < 6時間目 > <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">フリーの味方にすばやくパスをつないでこうげきしよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○前時のゲームの様相を基にした知識テスト（3択問題）を提示する。 ○追加する規則がある場合は、確認をする（児童の学習カードの記述やゲームの様相等を基に教師が提案・設定）。 <ul style="list-style-type: none"> ・シュートが入る、もしくは、ゴールのリング（フラフープ）に当たったら、帽子を赤にする。 ・チームの全員の帽子を赤にすることができたら、ボーナス5点とする。 ・ボールを持っている人から1m程度離れて守備をする。 ・シュートを決めたら、控えの味方にハイタッチをして得点板の得点

8	ゲーム①	をめぐってからゲームに入る。
	課題解決学習	○良いプレーがあったときには、全員に聞こえるように大きな声で褒めて、何が良かったのかを具体的に知らせることで、全体に共有する。
		○素早く行動してたくさん動けるよう声をかけて回る。
	ゲーム②	○必要に応じて水分補給の時間を設ける。
		・本時の課題に対してどうだったかを、チームや全体で話し合う。
		○話し合いが停滞しているチームに対しては、課題を確認させるために教師が主導でうまくいったことと、うまくいかなかったことを確認し合うよう伝える。
		○チームの困り感に応じて教師が練習方法を紹介する。 （「パスランシュート」「2対1」「スリーサークルゲーム」「フォーサークルゲーム」）
	反省	・チーム練習かペアチーム練習かを選択して行う。
まとめ	○ゲームを楽しむと同時に、勝敗だけにこだわらず、練習したことをゲームで活かすことができたかを考えながらプレーするように伝える。	
クールダウン	・チームごとに集まり話し合いながら、チームや個人の課題について学習カードに記述する。	
片付け	○児童が発言を行う際、他の児童の意見を受けて発言できるように配慮する。	
あいさつ	○教師主導で整理運動を行い、使った部位をほぐすことができるようにする。	
		・チームで分担し、協力して素早く片付けをする。
		○元気よく挨拶をする。

展開3 (7~9時間目)

時配	過 程	・学習内容と活動	○指導と支援
7	あいさつ 準備 ウォーミングアップ 健康観察	<ul style="list-style-type: none"> ・服装を整えて整列をして、元気よくあいさつをする。 ・チームで分担して、素早く場や用具の準備をする。 ・必要な部位をほぐすとともに心肺機能を高められるよう、教師主導で準備運動とボール慣れの運動（2人組での対面パス）を行う。 ・対面パスでは、声をかけ合いながら相手の取りやすいパスをする。試合を意識して、パスの距離や方法を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康観察をする。必要に応じて水分補給の時間を設ける。 ・学習カードに記述した前時の課題とそれに対する教師のコメントを読み、本時の課題に対して見通しをもってから活動に入るようにする。
30	課題確認	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の課題を確認する（本時の課題は、前時までの児童の困り感やゲームの様相を基に設定する）。 	
		< 7時間目 >	
		チームに合ったせめ方を見つけよう。	
		< 8時間目 >	
		役割を決めてこうげきしよう。	
		< 9時間目 >	
		かんたんな作戦を使って、こうげきしよう。	
	ゲーム①	<ul style="list-style-type: none"> ○前時のゲームの様相を基にした知識テスト（3択問題）を提示する。 ○良いプレーがあったときには、全員に聞こえるように大きな声で褒めて、何が良かったのかを具体的に知らせることで、全体に共有する。 ○素早く行動してたくさん動けるよう声をかけて回る。 	
	課題解決学習	<ul style="list-style-type: none"> ○必要に応じて水分補給の時間を設ける。 ・本時の課題に対してどうだったかを、チームや全体で話し合う。 ・話し合いが停滞しているチームに対しては、課題を確認させるために教師が主導でうまくいったことと、うまくいかなかったことを確認し合うよう伝える。 ・チーム練習かペアチーム練習を選択し、「ハーフコートゲーム」を行う。 ○役割や動き方を確認しながら練習を行うように伝える。動き方のわからない児童に声をかけ指導する。 	
		【予想される攻め方】	
		—————▶ 人の動き	
		-----▶ ボールの動き	
		「ジグザグ攻撃」	

8	<p>ゲーム②</p>	 <p>※2人がパスアンドランの動きでボールを繋いでいくため、もう1人は、ゴール裏付近で待機し、シュートのカバーを行う。 「くの字・逆くの字攻撃」</p>  <p>※この場合は、「逆くの字攻撃」。パスを受ける人は、敵と重ならないように横方向へ動くようにする。</p>
	<p>反省 まとめ</p> <p>クールダウン</p> <p>片付け あいさつ</p>	<p>○ゲームを楽しむと同時に、勝敗だけにこだわらず、練習したことをゲームで活かすことができたかを考えながらプレーするように伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームごとに集まり話し合いながら、チームや個人の課題について学習カードに記述する。 <p>○児童が発言を行う際、他の児童の意見を受けて発言できるように配慮する。</p> <p>○9時間目の授業では、セストボールの学習を通してできるようになったことやこれからの学習に生かしていきたいことなどを全体で発表し合う時間を設ける。</p> <p>○教師主導で整理運動を行い、使った部位をほぐすことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで分担し、協力して素早く片付けをする。 <p>○元気よく挨拶をする。</p>

※学習カードは、ホームページに載っています。